

D P	C P	1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2 国際社会の変化とビジネスのグローバル化について、歴史や文化等の観点から自分の考えを説明できる。	A-2 グローバリゼーションの実態や世界全体の諸相について理解を深めることができるよう、テーマに沿って複数の国や地域を横断的に学ぶ科目、日本と関係の深い諸国の経済について専門的に学ぶ科目、政治経済・社会・文化等の多様な側面から歴史的に分析する科目を、1年次より配置する。	政治経済学 民法A	△世界と日本の経済	経済思想史 △資源経済論 △世界経済論 △東南アジア経済論 △中東経済論 日本史A 外国史A 人文地理学A 自然地理学A 地誌学A 環境経済学 経済地理 政治学原論 I 現代哲学思想A	△アメリカ経済史 △アメリカ経済論 △中国経済論  日本史B 外国史B 人文地理学B 自然地理学B 地誌学B 社会政策 政治学原論 II 国際法 現代哲学思想B	△日本経済史 △韓国経済論	△西洋経済史 △ヨーロッパ経済論 日本経済論 商法A		
A-3 モノ・カネ・ヒト・情報の国境を越えた移動について、市場が果たす役割と限界を理解できる。	A-3 人々の自由な意思決定に基づいて行われるモノ・カネ・ヒト・情報の国境を越えた移動がもたらす経済的成果と限界及び、これらに対する政府の介入の意義を考察するための理論経済学科目を、1年次及び2年次を中心に配置する。	◎経済学入門 簿記原理I	△経済数学I △マクロ経済学I △ミクロ経済学I 簿記原理II	会計学原論I 簿記原理III	△国際経済学 労働経済学 △経済政策I 会計学原論II 簿記原理IV	△海外直接投資論			
A-4 外国語で発信された経済及び隣接分野に関する情報を収集し、正しく理解することができる。	A-4 経済に関する専門的な英語文献を理解するための科目や、実践的な語彙を豊富に英語運用能力を向上させる科目、また、中国語や韓国語を学習する科目を、1年次及び2年次を中心に配置する。	△経済英語I △経済英語表現I	Problem Solving Skills for Global Issues I Problem Solving Skills for Global Issues II	△時事英語I 時事中国語I	△経済英語II △経済英語表現II △外国語検定A (2単位) △外国語検定A (4単位) △外国語検定B 韓国語会話	時事中国語II	△経済英語表現III 時事英語II 経済英語III		
B-2 現実の国際問題・経済問題を経済学特有の思考方法等に基づいて考え、判断することができる。	B-2 労働・環境・社会保障等の分野における各種政策の意義を国際比較を通して学ぶ科目や、海外事例を含め財政・金融の仕組みを学ぶ科目を、2年次及び3年次を中心に配置する。			国際政治学 マクロ経済学II ミクロ経済学II		国際農業経済論 地域開発論 産業組織論 環境政策 公共経済学 △比較経済制度論 財政学 金融論 △国際金融論 地方財政論 社会保険論 社会思想史	法と経済学 経済政策II 労働政策 △国際経済開発論 発展途上国経済論 医療経済学 証券投資論		
B-3 経済及び隣接する分野のデータを理解し、必要に応じて適切に収集、加工することができる。	B-3 経済データの特性を理解し、それらを目的に応じて有効に活用するために必要な基礎知識を学ぶ科目を、2年次を中心に配置する。	△基礎統計学	△経済データ分析実習 I	計量経済学I 経済数学II	統計学総論 △経済データ分析実習 II	計量経済学 II 経済統計論			
C-2 国際経済等の諸問題を理解し、国際経済等についての学びを活用した実践的解決法を見出すことができる。	C-2 少人数で様々なテーマについて協力して研究を行う場であり、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を鍛える演習科目を、1年次より配置する。	◎基礎演習I	まちづくり・ひとつづくり実習	△基礎演習II マクロ経済学実習 経済英語実習 経済情報処理実習	ミクロ経済学実習				
B-2 国際社会の変化に適切に対応するため、国際経済に関する専門知識を活用して今後の見通しを立てることができる。	B-2 経済学の実践的な知識と応用力を身に付け、世界の中での日本経済の諸問題を解決するための演習科目等を、3年次を中心に配置する。			△金融・ファイナンス実習	国際キャリア演習	◎演習I △キャリアのための資格 (2単位) △キャリアのための資格 (4単位)	△演習II △卒業論文		

※◎は必修科目、△は選択必修科目を表す。